



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東  
 コード番号 9882 URL http://www.yellowhat.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-6866-0163  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	31,396	△1.3	1,399	△27.5	1,815	△17.8	1,308	7.7
2018年3月期第1四半期	31,807	9.0	1,929	105.6	2,210	80.3	1,214	45.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,237百万円(4.6%) 2018年3月期第1四半期 1,182百万円(57.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期第1四半期	56	76	56	58
2018年3月期第1四半期	52	69	52	54

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2019年3月期第1四半期	94,925		73,865		77.7	3,197	90	
2018年3月期	100,286		73,363		73.0	3,177	19	

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 73,717百万円 2018年3月期 73,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年3月期	—		33.00		33.00	66.00
2019年3月期	—					
2019年3月期(予想)			36.00		36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	65,000	2.1	3,200	1.3	3,800	3.6	2,800	24.9	121	46
通期	143,000	3.7	9,700	1.5	10,800	1.0	7,300	6.7	316	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	24,961,573株	2018年3月期	24,961,573株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,909,630株	2018年3月期	1,909,610株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	23,051,953株	2018年3月期1Q	23,049,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当期の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調にあるものの、労働力不足による人件費上昇や物流費上昇などが見込まれることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、危険運転に関する報道を受けた前年10月以降、ドライブレコーダー販売の伸長が継続している一方で、タイヤやカーナビゲーション等の高単価商品の販売は消費者の慎重な購買姿勢が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループはカー用品・二輪用品等販売事業の一層の拡大を図るべく、タイヤを中心とした消耗品の拡販や、車検・钣金などのカーメンテナンスメニューを拡充してまいりました。また、新たな取組みとしてイエローハット店舗において「タイヤパンク補償」をスタートさせ、実店舗ならではのアフターサービスの充実による顧客満足向上に努めました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、店舗数の増加はあったものの、値上げ前特需があった前年同期と比較してタイヤ販売が減少したことなどから、売上高は313億96百万円（前年同期比98.7%、4億11百万円減）、売上総利益は121億13百万円（前年同期比99.7%、41百万円減）となりました。

販売費及び一般管理費は、子会社店舗の増加に伴う人件費や賃借料等の増加により、107億13百万円（前年同期比104.8%、4億88百万円増）となりました。

その結果、営業利益は13億99百万円（前年同期比72.5%、5億29百万円減）、経常利益は18億15百万円（前年同期比82.2%、3億94百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては13億8百万円（前年同期比107.7%、93百万円増）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は102億48百万円（前年同期比92.5%、8億26百万円減）、小売部門は188億74百万円（前年同期比102.0%、3億63百万円増）となりました。

## ②当期のセグメント別概況

当第1四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

## &lt;カー用品・二輪用品等販売事業&gt;

当第1四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

国内では、2018年4月にトレッド大宰府店（福岡県）、小千谷インター店（新潟県）、茨木太田店（大阪府）、6月に平塚田村店（神奈川県）の計4店舗を開店、2018年6月に湖西新居店（静岡県）を閉店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、国内がイエローハット706店舗、2りんかん55店舗、SOX46店舗、海外がイエローハット5店舗の合計812店舗、イエローハット車検センターが7拠点となりました。

当第1四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、297億98百万円（前年同期比98.7%、4億6百万円減）、セグメント利益につきましては、11億38百万円（前年同期比67.8%、5億40百万円減）となりました。

## &lt;賃貸不動産事業&gt;

当第1四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、15億98百万円（前年同期比99.7%、4百万円減）、セグメント利益につきましては、2億61百万円（前年同期比104.2%、10百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、437億31百万円(前連結会計年度末491億95百万円)となり、54億63百万円減少いたしました。これは主にその他(未収入金など)が19億39百万円、現金及び預金が17億46百万円、受取手形及び売掛金が15億98百万円減少したことによります。

また、固定資産の残高は511億94百万円(前連結会計年度末510億91百万円)となり、1億2百万円増加いたしました。

この結果、総資産残高は949億25百万円(前連結会計年度末1,002億86百万円)となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、153億58百万円(前連結会計年度末214億16百万円)となり、60億58百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が31億97百万円、未払法人税等が14億88百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は57億1百万円(前連結会計年度末55億6百万円)となり、1億94百万円増加いたしました。

この結果、負債残高は210億60百万円(前連結会計年度末269億23百万円)となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、738億65百万円(前連結会計年度末733億63百万円)となり、5億1百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を13億8百万円計上した一方で、配当金を7億61百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月9日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,414	5,667
受取手形及び売掛金	10,259	8,660
たな卸資産	24,299	23,992
その他	7,600	5,661
貸倒引当金	△378	△250
流動資産合計	49,195	43,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,520	36,754
減価償却累計額	△20,383	△20,552
建物及び構築物(純額)	16,137	16,201
土地	15,481	15,481
その他	7,986	8,150
減価償却累計額	△4,678	△4,764
その他(純額)	3,308	3,385
有形固定資産合計	34,927	35,069
無形固定資産		
ソフトウェア	279	262
その他	96	89
無形固定資産合計	376	351
投資その他の資産		
投資有価証券	1,894	1,785
敷金	9,663	9,601
その他	4,519	4,690
貸倒引当金	△289	△304
投資その他の資産合計	15,787	15,773
固定資産合計	51,091	51,194
資産合計	100,286	94,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,412	7,214
未払法人税等	2,167	679
賞与引当金	996	1,457
ポイント引当金	676	722
その他	7,163	5,284
流動負債合計	21,416	15,358
固定負債		
退職給付に係る負債	249	217
リース債務	408	385
資産除去債務	2,530	2,689
その他	2,318	2,409
固定負債合計	5,506	5,701
負債合計	26,923	21,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,393	10,393
利益剰余金	51,400	51,947
自己株式	△2,253	△2,253
株主資本合計	74,612	75,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583	506
土地再評価差額金	△1,907	△1,907
為替換算調整勘定	38	35
退職給付に係る調整累計額	△86	△76
その他の包括利益累計額合計	△1,371	△1,442
新株予約権	118	144
非支配株主持分	4	3
純資産合計	73,363	73,865
負債純資産合計	100,286	94,925

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	31,807	31,396
売上原価	19,652	19,283
売上総利益	12,155	12,113
販売費及び一般管理費	10,225	10,713
営業利益	1,929	1,399
営業外収益		
受取利息	23	18
受取手数料	108	120
持分法による投資利益	25	15
貸倒引当金戻入額	—	114
その他	137	162
営業外収益合計	295	431
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	—	2
その他	9	8
営業外費用合計	14	15
経常利益	2,210	1,815
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	6	6
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	2,203	1,810
法人税、住民税及び事業税	756	635
法人税等調整額	233	△133
法人税等合計	989	502
四半期純利益	1,214	1,307
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,214	1,308



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,214	1,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△76
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	9	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△3
その他の包括利益合計	△31	△70
四半期包括利益	1,182	1,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,182	1,238
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社ホップス(2018年6月1日付で「株式会社新岐阜イエローハット」に社名変更)の発行済株式の過半数を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,205	1,602	31,807	—	31,807
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,205	1,602	31,807	—	31,807
セグメント利益	1,678	250	1,929	—	1,929

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,798	1,598	31,396	—	31,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,798	1,598	31,396	—	31,396
セグメント利益	1,138	261	1,399	—	1,399

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。